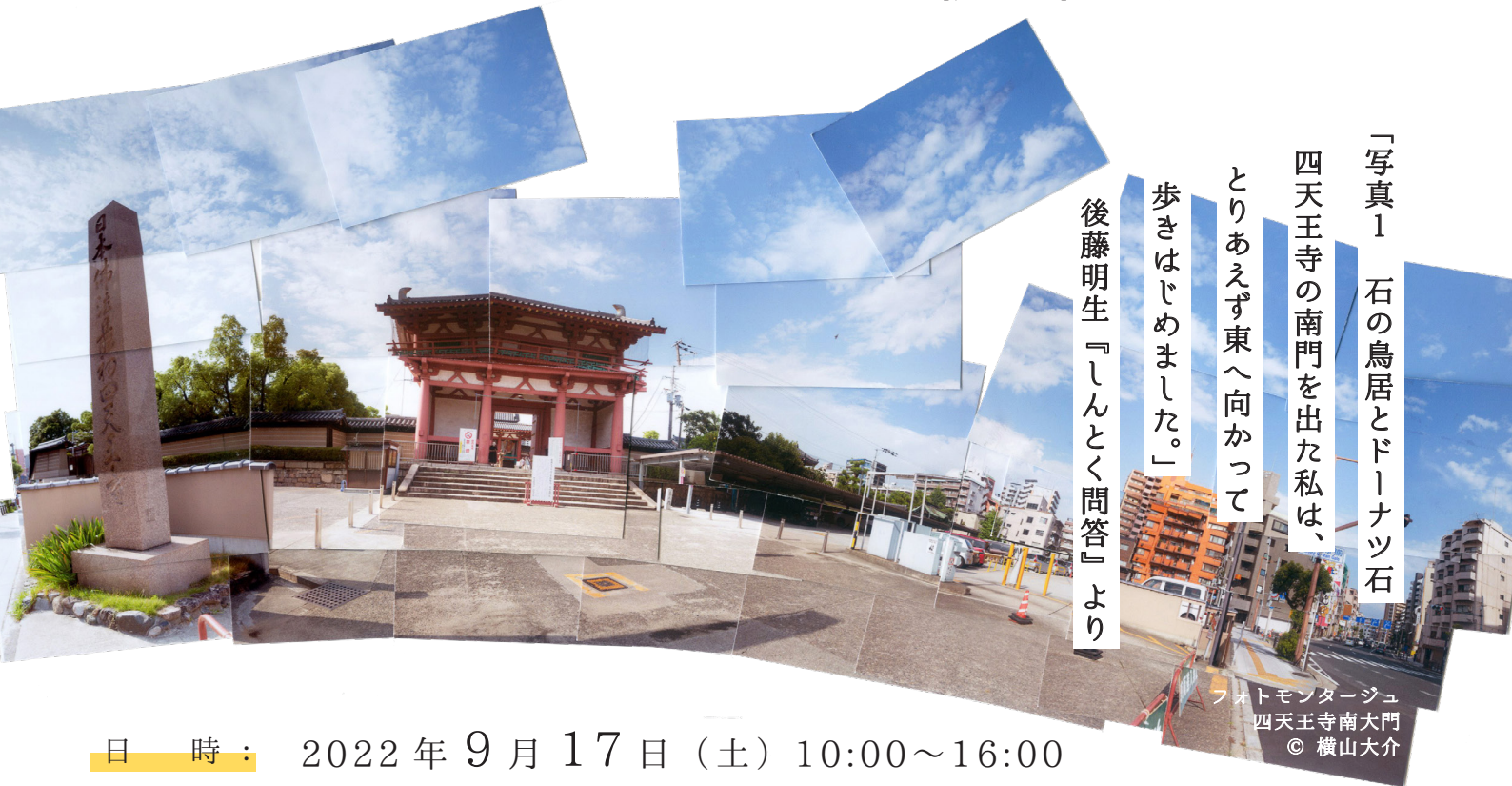


フォトめぐり俊徳道



「写真1 石の鳥居とドーナツ石

四天王寺の南門を出た私は、

とりあえず東へ向かって

歩きはじめました。」

後藤明生『しんとく問答』より

フォトモンタージュ
四天王寺南大門
© 横山大介

日時： 2022年9月17日（土）10:00～16:00
2022年9月18日（日）13:00～16:30

集合場所： 四天王寺本坊

参加費： 3,000 円

持ち物： カメラ（スマホ可）

講師： 兼子裕代



撮影場所：

青森県生まれ。カリフォルニア州オークランド在住。2005年サンフランシスコ・アート・インスティテュート大学院写真科修士課程修了。2009年サンタフェ写真賞受賞。2022年「アピランス」（青幻舎）で写真の会賞受賞。UCデイヴィス、デアンザ・カレッジ、サンタ・クララ大学で非常勤講師。



主催： 上町台地アートプロジェクト実行委員会
上町台地アートワークス実行委員会
助成： アーツサポート関西



Arts Support Kansai

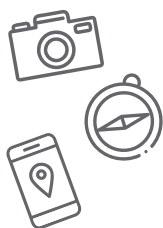
伝説の街道、俊徳道をフォトモンタージュする

— 中世から現在、「時空の旅」

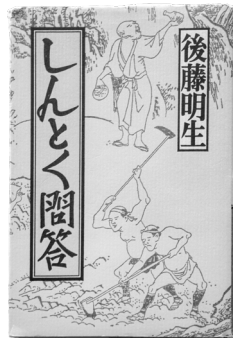
今年生誕 90 年を迎え再注目される小説家・後藤明生は、晩年、近畿大学で教鞭をとり、大阪で暮らしました。中世から伝わる「俊徳丸伝説」をはじめ上町台地ゆかりの歴史や文学への探究を綴った小説『しんとく問答』（講談社 1995 年刊行）には後藤本人と思われる主人公が上町台地で撮影した写真の記述が多く登場しますが、写真自体は一枚も掲載されていません。本ワークショップでは、これらの“写真のない写真解説”をもとに、「俊徳丸伝説」の舞台である、四天王寺一俊徳道間を十三ヶ所に分けて撮影します。はたして、後藤が歩いた平成初期の俊徳街道は、令和の今どのように見えるのか？土地に見え隠れする歴史の出来事や変遷を感じながら、カメラを片手にまち歩きしませんか？

1 FIELDWORK!

1 日目 2022 年 9 月 17 日（土）



- 10:00 - 四天王寺本坊集合
- 10:15 - 概要説明とレクチャー 歩きやすい服装で！
- 11:00 - 各地区に別れてフィールドワーク
- 15:30 - 近鉄俊徳道駅に集合
- 16:00 - 写真データを提出し解散



後藤明生（ごとう めいせい、1932 年 4 月 4 日 - 1999 年 8 月 2 日）早稲田大学露文科卒。作家。著書に小説『挟み撃ち』『人間の病気』（芥川賞候補）『夢かたり』（平林たい子賞）『吉野大夫』（谷崎潤一郎賞）『壁の中』『首塚の上のアドバルーン』（芸術選奨）『しんとく問答』等。1989 年、近畿大学文芸学部設立にあたり教授に就任。1993 年より同学部長を務めた。

2 WORKSHOP!

2 日目 2022 年 9 月 18 日（日）



- 13:00 - 四天王寺本坊集合
- 13:15 - フォトモンタージュ制作
- 15:30 - 講評会 作業しやすい服装で！
- 16:30 - 解散

お申し込み方法

上町台地アートプロジェクト実行委員会事務局まで、
FAX または E-mail にて、9 月 12 日までに申し込みください。

ご所属	お名前（代表者）
ご住所	お名前（同行者）
メールアドレス	お名前（同行者）

FAX : 06-6777-5184 E-mail : info@daichishin.org



マスクの着用



手洗い・消毒



館内の換気



距離の確保

【新型コロナ感染症拡大防止対策について】37.5 度以上の発熱がある又は体調のすぐれない方、過去 2 週間以内に新型コロナウイルス感染症陽性とされた方との濃厚接触がある方はご来場をご遠慮ください／マスクの着用および、お客様同士の距離の確保にご協力をお願いいたします。※新型コロナウイルス感染拡大や、緊急事態宣言、まん延防止措置などの状況によっては、本イベントを予告なく中止させていただく場合がございます。何卒ご了承ください。